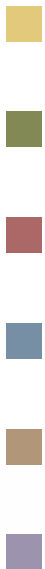




第2章

.....●.....

景観基本計画の 区域と方針



第2章 景観基本計画の区域と方針

1 景観基本計画区域の設定

市全域で良好な景観形成を推進していくため、計画対象区域は市内全域とします。

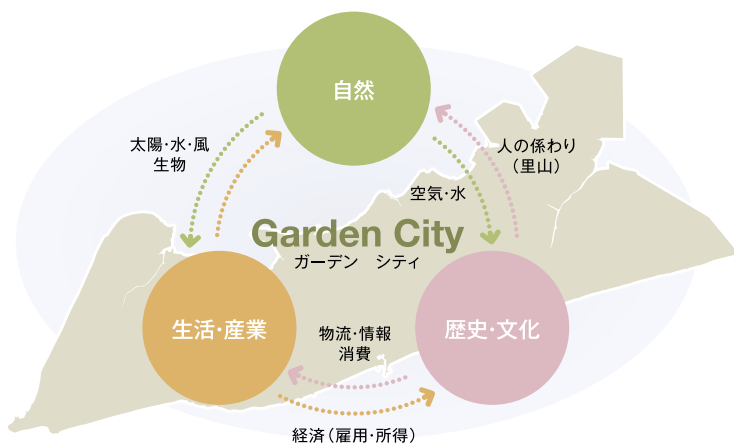
2 景観形成の基本理念と目標

1 基本理念

三方を海に囲まれ、温暖な気候、山などの豊かな自然環境に包まれた渥美半島で、田原にしかない豊かな景観資源を次世代に引き継ぐための基本理念を、以下のように定めます。

ガーデンシティ(田園都市)の景観づくり

一市民の手により自然景観を守り育み、自然と調和した産業景観と美しく快適に暮らせる都市景観の創出—



“ガーデンシティ”とは、産業革命による経済優先の劣悪な都市環境にあった百年前のロンドンで提唱された都市づくりの言葉です。この“ガーデンシティ”が目指すものは、大都市郊外において、豊かな自然環境、農業・工業などの生産の場、生活空間が調和して、持続可能となるようにデザインされた理想都市でありますので、田原市の将来イメージとして用いることとしました。

また、“ガーデン(garden)”という英語は、“庭”や“庭園”の意味のほかに、肥沃な耕作地帯、豊穡・楽園・余暇を象徴する言葉です。
(第1次田原市総合計画より抜粋)

2 基本目標

基本理念に基づき、ふるさとの景観づくりに取り組む全体の基本目標を以下のように設定します。

目標 1 市民による市民のための景観づくりを進めよう!

市民の手により玄関先に花を植えたり、家の周りのゴミを片付けたり、身の回りの簡単なことから身近な景観づくりを始めましょう。

目標 2 先人が創り上げてきたふるさと景観を守り育み、そして継承しよう!

長い時間をかけて先人が創り上げてきた大切なものに目をむけてふるさと景観づくりを始め、継承しましょう。

目標 3 おもてなしの心で、心癒される美しい景観を守り、そして創ろう!

渥美半島の豊かで多様な自然景観を守るため、不必要で派手な屋外広告物や周辺の景観と調和しない建物や工作物などは見直して、うるおいと活力あるガーデンシティに調和する田原市を創造しましょう。

3 エリア別景観形成の方針

1 エリアの設定

市内の景観特性や土地利用の現況に配慮しながら計画対象区域を区分します。

【計画対象区域の区分の考え方】

市内には海浜やその周辺、蔵王山等の山並み、本市の基幹産業である農業地域に点在する市街地や集落があります。こうした面的な広がりを捉え、市内を「海」「山」「農」「まち」の4つの景観エリアに区分することとします。

また、景観資源を眺める重要な骨格軸として、国道及び鉄道沿いを「沿道景観軸」、主要な河川を「河川軸」と位置付けます。

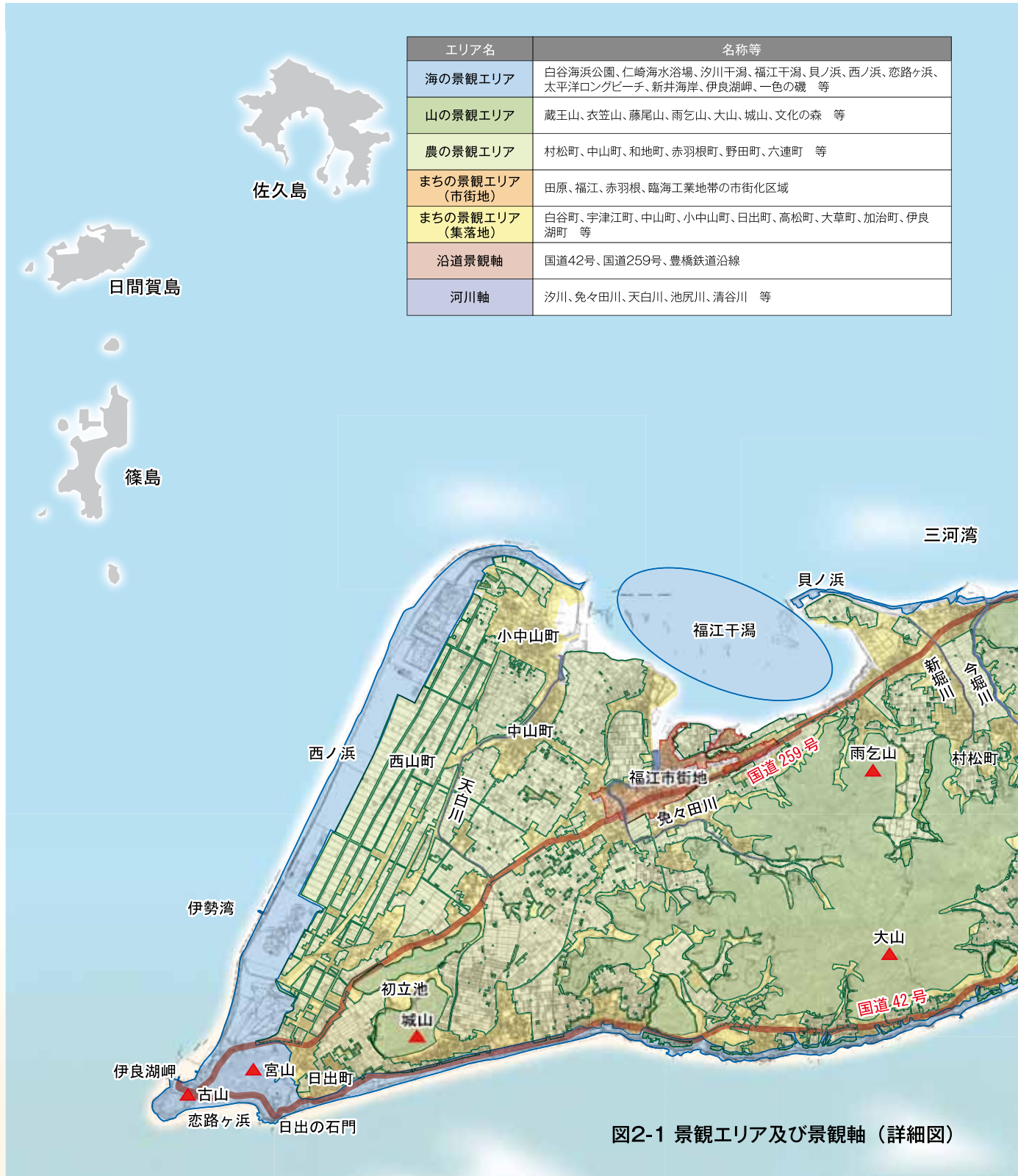


図2-1 景観エリア及び景観軸（詳細図）

【景観エリアとエリア別土地利用規制区域】

景観形成を具体的に進めるために、景観エリアは現在他法令で法規制されている区域を元に設定します。

エリア別土地利用規制一覧

エリア名	区域の範囲	自然公園区域			農業振興地域		市街化区域	市街化調整区域
		三河湾 国定公園 (特別保護区)	三河湾 国定公園 (特別地域)	渥美半島 県立自然公園 (特別地域)	農用地	白地地域 (無指定)		
海の景観エリア	普通地域及び山地部分を 除く自然公園区域	○	○					○
山の景観エリア	海、農、まちの景観エリア 及び沿道景観軸以外の区域		○					○
農の景観エリア	農業振興地域内農用地区域			○	○			○
まちの景観エリア (市街地)	市街化区域						○	
まちの景観エリア (集落地)	農業振興地域内農用地区域外					○		○
沿道景観軸	R42.259の道路端から100m 及び豊橋鉄道の軌道端から100m	○	○		○	○	○	○
河川軸	河川区域から10mの範囲				○	○	○	○



2 エリア別景観形成の方針



海の景観エリア 景観形成方針



「美しい自然景観の保全」の視点

- 太平洋の荒波が打ち寄せる表浜海岸は、大自然の雄大さが見られる特徴的な景観であることから、その保全を図ります。
- 特に、伊良湖岬周辺や太平洋ロングビーチ周辺は重要な景観資源であることから、自然景観の保全に加え、より美しくする景観づくりを進めます。
- 海岸沿いの美化として、漂着ゴミの対策や傷んだ松林の再生を図ります。また、松林の再生に合わせて津波対策の実施を検討します。



太平洋ロングビーチ

「歴史的景観の継承」の視点

- 表浜海岸では、幕末の海岸防備の施設や第2次世界大戦の戦争遺跡が数多く残されていることから、これらの歴史的資源を次世代に継承する景観づくりを進めます。



伊良湖岬灯台

「自然や歴史と調和する生業景観や生活・産業景観の形成」の視点

- 海苔の養殖等の生業の場である内海側については、干潟や養殖風景の保全を図ります。

「景観を楽しむ視点場の形成」の視点

- 伊良湖岬を始め数多くの眺望ポイントが海沿いに分布しており、これらのポイントを「視点場」として位置付け、そこから眺める景観の保全や改善を進めます。また、視点場へのアクセス路や視点場の安全性等を確保します。



三河湾での潮干狩り



山の景観エリア 景観形成方針



「美しい自然景観の保全」の視点

- 渥美半島の山地は、海沿いやまちなかのいろいろな方向から眺めることができるランドマーク的な山地景観を形成しており、特に、山裾に広がる農地や海浜と一体となった山並みの風景は渥美半島の大きな魅力であることから、山の緑のまとまりや連年の保全を図ります。
- 貴重な植生が残る保存エリアについては、その周辺の緑地を含めて保全を図ります。



蔵王山から見た市街地

「歴史的景観の継承」の視点

- 山地には、古墳、陣地、社寺等が分布していることから、これらの歴史的資源を次世代に継承する景観づくりを進めます。



蔵王権現

「自然や歴史と調和する生業景観や生活・産業景観の形成」の視点

- 緑の質の低下を防ぐための里山づくりを市民参加で進めます。

「景観を楽しむ視点場の形成」の視点

- 山頂等は、田原市の景観を眺める「視点場」として位置付け、そこから眺める景観の保全や改善を進めます。また、視点場へのアクセス路や視点場の安全性等を確保します。



広がりのある農地と山並みが調和した景観



農の景観エリア 景観形成方針



「美しい自然景観の保全」の視点

■当該エリア内に残存する樹林地、ため池、河川等の自然的要素は、農の景観にうらおいを与える重要な景観資源であることから、その保全を図ります。

「歴史的景観の継承」の視点

■当該エリア内には、貝塚、古墳、中世の城館等の文化財が分布していることから、これらの歴史的資源を次世代に継承する景観づくりを進めます。

「自然や歴史と調和する生業景観や生活・産業景観の形成」の視点

■まとまりと広がりのある農地景観を維持するためには、農業経営が健全に行われることが必要であるため、今後も農業の振興を図ります。

■耕作放棄地や休耕地の有効活用や廃温室を改善し、農地景観の魅力向上を進めます。

■まとまり感や広がり感に満ちた農地景観を維持するため、建築物、工作物、屋外広告物等の立地を適切に誘導します。

■四季をアピールする観光資源として、農地景観を活用します。

「景観を楽しむ視点場の形成」の視点

■当該エリア内に存する公園や観光施設等を、広がりある農地景観を眺める「視点場」として位置付け、そこから眺める景観の保全や改善を進めます。また、視点場へのアクセス路や視点場の安全性等を確保します。



電照菊



温室群



菜の花畑



街の景観エリア(市街地) 景観形成方針



「美しい自然景観の保全」の視点

■市街地内に存する社寺林や屋敷林及び河川等の緑地は、まちの景観にうらおいを与える重要な景観資源であることから、その保全を図ります。

「歴史的景観の継承」の視点

■田原城跡及び城下町、福江城坂周辺、赤羽根市街地には多くの歴史的資源が残されていることから、これらの資源を活用したまちづくりを積極的に進め、生活環境の向上やまちの活性化を図ります。

「自然や歴史と調和する生業景観や生活・産業景観の形成」の視点

■市街地の緑量の増加によるうらおいを高めます。

■まちの環境改善や活性化に向けたまちづくりを実施する際には、地域の歴史や現在のまちなみに調和するよう配慮します。

■臨海部の工業地景観は、田原市の眺望景観の中でも大きな影響力を有することから、敷地内の緑化や工場の意匠デザイン等に配慮するよう促します。

「景観を楽しむ視点場の形成」の視点

■田原駅前、市役所、観光地等の人が多く集まる場所を田原市の魅力をアピールする「視点場」として位置付け、そこから眺めることのできる個性的、魅力的な眺望景観の保全または創造を図ります。



生垣と石積みが特徴的な街の景観



良好な市街地景観



緑豊かな工場地景観



まちの景観エリア(集落地) 景観形成方針



「美しい自然景観の保全」の視点

- 集落地内に存する社寺林や屋敷林及び河川等の緑地は、まちの景観にうおいを与える重要な景観資源であることから、その保全を図ります。

「歴史的景観の継承」の視点

- 集落地内には地域の生い立ちを物語る歴史的資源が残されていることから、これらの資源の保全と活用を進めます。また、これらの資源を巡ることのできる周遊路ネットワークの形成を図ります。
- 集落地形成の歴史から、集落地内の建物は同種のデザインのものが多く集積して一団のまとまりを有していることから、このまとまり感の保全を図ります。

「自然や歴史と調和する生業景観や生活・産業景観の形成」の視点

- 集落地内の環境改善や活性化に向けたまちづくりを実施する際には、地域の歴史や現在のまちなみに調和するよう配慮します。
- 農家の分家住宅等が農地景観や集落地景観と調和するように誘導します。

「景観を楽しむ視点場の形成」の視点

- 集落地に存する集会所や公園など、人の集まる場所を「視点場」として位置付け、そこから眺めることのできる個性的、魅力的な眺望景観の保全または創造を図ります。



集落地景観



集落地景観



白谷の石積みの上に建つ倉



趣きのある和風の建物



沿道景観軸 景観形成方針



「美しい自然景観の保全」の視点

- 道路を新設または拡幅する場合には、沿道の自然景観と調和するよう配慮します。

「歴史的景観の継承」の視点

- 国道42号は伊勢街道、国道259号は田原街道であったように、この2路線は景観軸であるとともに歴史軸ととらえることができることから、沿道に存する歴史的資源を活用した景観づくりを進めます。

「自然や歴史と調和する生業景観や生活・産業景観の形成」の視点

- 田原市の個性を感じることができるシンボリックな道路景観を創造します。
- おもてなしの心を感じる大切な景観軸として、花であふれた沿道景観の形成を図ります。
- 雑草が枯れ、ゴミが散乱する道路は街のイメージを大きく損なうことから、道路美化活動の推進を図ります。
- 無秩序な屋外広告物の設置や電線電柱類は、景観形成上の大きな障害要素であることから、広告物についてはその位置やデザイン・大きさを適切に誘導します。また、必要に応じて電線電柱類の整理を行います。
- 農地の土砂流出を防止し、法面保護を図ります。
- 自転車道構想や渥美半島菜の花浪漫街道等と連携を図りながら、計画を実行していきます。



特別地域内の沿道



菜の花畑



国道沿道の農地景観

「景観を楽しむ視点場の形成」の視点

- 雄大な海の景観を眺望することができる視点場を、適切な場所に設定します。



「美しい自然景観の保全」の視点

- 豊かな自然を有する河川は、都市環境に大きなおおいを与えることから、生態系の観点に加え、景観の観点からも保全を図ります。
- 良好な自然環境を維持し、景観的にも魅力を高めるため、河川美化の推進を図ります。

「歴史的景観の継承」の視点

- 川には古くからの人々の暮らしの記憶があることから、川沿いに残る歴史的資源を活用した河川景観づくりを進めます。

「自然や歴史と調和する生業景観や生活・産業景観の形成」の視点

- 河川の護岸改修、整備にあたっては、生態系への配慮に加え、景観的視点に配慮し、沿岸地域との調和やうるおい感を創出します。
- 河川は市民の散歩道として利用されることも多いため、歩きやすい道の整備に加え、川沿いの緑化等により楽しく快適に歩ける環境づくりを進めます。

「景観を楽しむ視点場の形成」の視点

- 河川堤防のうち、河川と一体となったまちの風景や農の風景を眺めることのできる場所を「視点場」として位置付け、そこから眺めることのできる個性的、魅力的な眺望景観の保全または創造を図るとともに、その視点場へのアクセス路や視点場の安全性等を確保します。



汐川



清谷川



免々田川

4 特徴的な景観を有している地区の景観形成の方針

1 エリアの設定

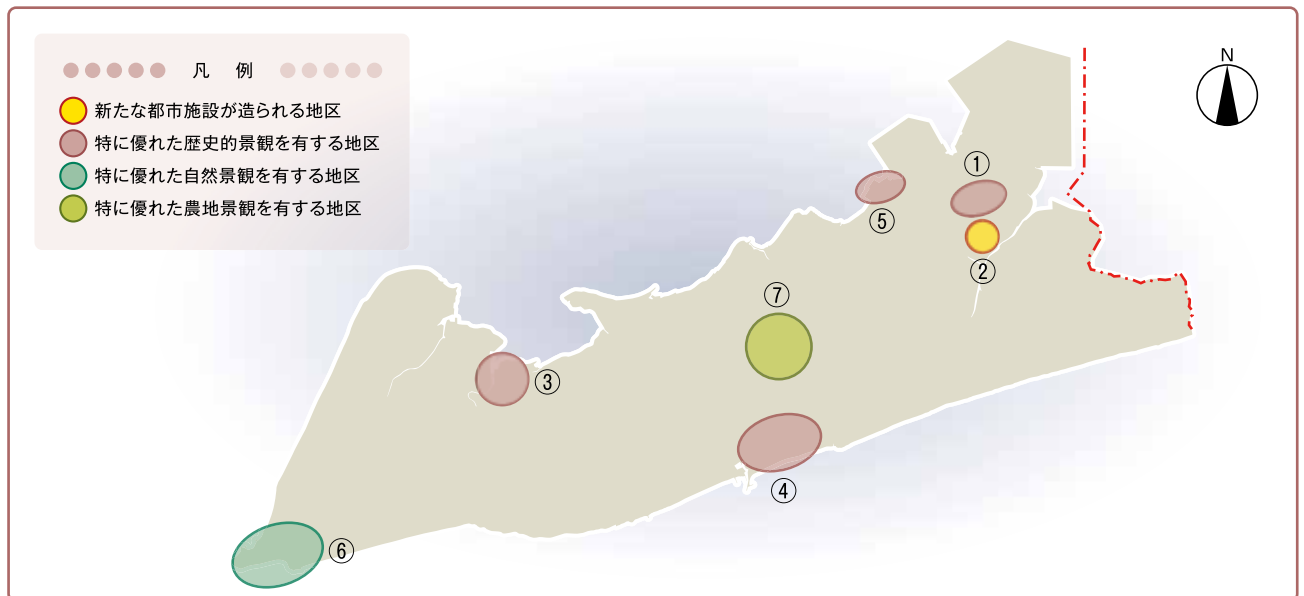
趣きのある集落や歴史的雰囲気を感じられる城下町など、田原市における界限景観の特色は、地区単位で異なっており、今後も引き続き地区独自の良好な景観を保全する必要があります。

一方、今後新たに整備され田原市の顔となるような地区についても、田原市らしい景観の創出に主眼をおいた配慮が必要となるため、本計画において特に地区的な景観形成が必要で、かつ、特徴的な地区を景観重点整備地区候補地として設定し、地域単位で実践的な景観づくりを推進します。

なお、景観重点整備地区候補地ごとに景観づくりに対する方向性、コントロールが必要な基準項目等を例示していますが、その検討にあたっては、市民と一緒に設定します。

【景観重点整備地区候補地の設定】

景観重点整備地区候補地として、特色ある界限景観地区、テーマ性のある眺望景観地区、田原をイメージさせる農地地区を以下に示し、その概況及びその方向性を示します。



【景観重点整備地区(候補地)位置図】

特色ある界限景観地区	エリア名
①田原城跡周辺地区	まち(市街地)
②三河田原駅周辺地区	まち(市街地)
③福江城坂周辺地区	まち(市街地)
④赤羽根地区	まち(市街地)
⑤白谷清水地区	まち(集落地)
テーマ性のある眺望景観地区(田原市の重要な眺望景観)	エリア名
⑥伊良湖岬地区	まち(集落地)
田原をイメージさせる農地地区	エリア名
⑦サンテパルク地区	農・まち(集落地)

2 景観重点整備地区候補地別景観形成の方向性

【良好な景観形成のための方向性】

地区名(仮称)	方向性	想定される基準項目(案)
田原城跡 周辺地区	<p>城下町としてまとまった緑(樹林)や生垣、古い趣きを持った建物は保全し、古い道沿いの建物については、歴史的な地区に調和するよう形態意匠のルール化による落ち着いたまち並みの形成や趣きづくりを図る。また、城下町を散策しやすいように適切な案内及び誘導サインの設置を図る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建物高さの最高限度 ■ 建物の色彩 ■ 屋根形状 ■ 垣柵 ■ 緑化 ■ 屋外広告物
三河田原駅 周辺地区	<p>中心市街地としてふさわしい地区となるよう屋外広告物のルール化や、緑化の推進、ファサードのルール化、駐輪場の整序など、緑豊かで魅力ある景観形成を図る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建物の色彩 ■ ファサードの形態意匠 ■ 緑化 ■ 屋外広告物
福江城坂 周辺地区	<p>港町の特徴をもった地区となるよう城坂周辺の趣きのある建物の保全を行うとともに、建て替え時における建物のルールを設定するなど、歴史を感じさせる空間づくりを図る</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建物高さの最高限度 ■ 建物の色彩 ■ 屋根形状 ■ 垣柵 ■ 緑化 ■ 屋外広告物
赤羽根地区	<p>防災性と生活利便性に配慮して、狭い路地の修景や、趣きのある古い建物の保全と建て替え時の建物のルール化により、落ち着いた市街地(農村集落)づくりを図る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建物高さの最高限度 ■ 建物の色彩 ■ 屋根形状 ■ 生垣 ■ 緑化 ■ 屋外広告物
白谷清水地区	<p>防災性と生活利便性に配慮しながら、特徴的な風情の景観保全を図る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建物高さの最高限度 ■ 建物の色彩(黒壁) ■ 切妻瓦葺きづくり ■ 妻入りの建物配置 ■ 垣柵・緑化 ■ 屋外広告物
伊良湖岬地区	<p>田原市の観光拠点として、伊良湖岬、太平洋、伊勢湾等の美しい眺望景観の保全と、集落地内の景観保全及び良好な住環境の維持を図るために、自然と調和した集落地内の景観づくりを図る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建物高さの最高限度 ■ 建物の色彩 ■ 屋根の色彩 ■ 屋根形状 ■ 緑化 ■ 屋外広告物
サンテパルク 地区	<p>広がりのあるまとまった農地景観の保全、区域内の農村集落景観の維持、芦ヶ池については自然な景観に調和するような景観形成を図る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建物高さの最高限度 ■ 建物の色彩 ■ 屋根形状 ■ 屋外広告物

